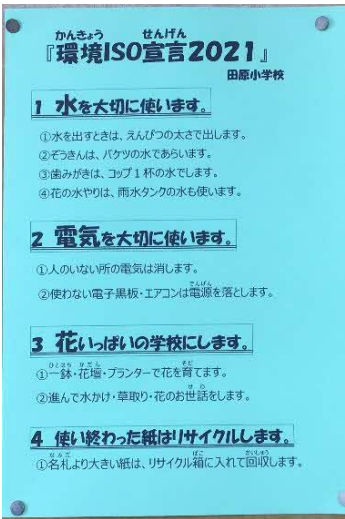



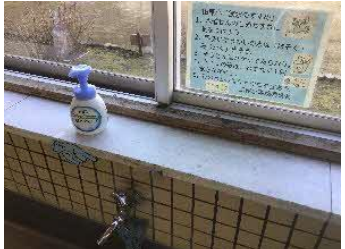

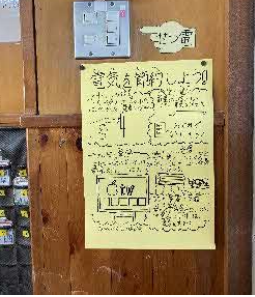


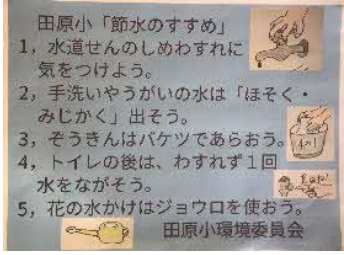



令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 熊本市立田原小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>1 水を大切に使います。</p> <p>① 水を出すときは鉛筆の太さで出します。</p> <p>② ぞうきんはバケツの水で洗います。</p> <p>③ 歯磨きは、コップ一杯の水でします。</p> <p>④ 花の水やりは、雨水タンクの水も使います。</p> <p>2 電気を大切に使います。</p> <p>① 人のいない所の電気は消します。</p> <p>② 使わない電子黒板・エアコンは電源を落とします。</p> <p>3 花いっぱい学校にします。</p> <p>① 一鉢・花壇・プランターで花を育てます。</p> <p>② 進んで水やり・草取り・花のお世話をします。</p> <p>4 使い終わった紙はリサイクルします。</p> <p>① 名札より大きい紙は、リサイクル箱に入れて回収します。</p>
行動	 	<p>1 「1学期」</p> <p>① 環境委員会で環境ISO宣言を立案する。（6月）</p> <p>② 第1回グリーンタイムで一鉢・学級園に花や栽培作物を植え、お世話を始める。（6月）</p> <p>③ 児童集会(放送)で環境ISO活動について説明する。</p> <p>2 「2学期」</p> <p>① 環境委員会で後期の花苗づくりを行う。（9月）</p> <p>② 第2回グリーンタイムで花の植え替えを行う。（10月）</p> <p>③ ボランティア活動で花の世話・校内清掃活動に取り組む。</p> <p>3 「3学期」</p> <p>① 花のお世話・ボランティア活動を継続する。</p> <p>② 紙のリサイクルボックス製作と回収活動を行う。</p> <p>③ 1年間の環境ISO活動のまとめ・報告を行う。</p>
記録	 	<p>1 水を大切に使います。</p> <p>各学級に環境委員会が作成した「節水ポスター」を掲示し、水道の蛇口近くには「節水マーク」を貼り、節水の意義や仕方を伝えた。歯磨きのコップ使用や雑巾洗いでバケツ使用、花の水やりでの雨水タンクの活用など次第に定着してきている。</p> <p>(水道使用量の対前年度比較 4月～12月間 8, 9月除く)</p> <p>令和2年度 1419 m³</p> <p>令和3年度 1304 m³(前年度比 91.9%)</p> <p>※ 前年度、水泳の学習が無かったため、使用量が増える8, 9月の水道使用量は両年度とも除いている。</p> <p>今年度は前年度より登校する日数も増えたが、前年度に比べて約8パーセント少なくなった。取り組みの成果が数字として確認できたことをうれしく思う。</p>

	   	<p>2 電気を大切に使います。</p> <p>環境委員会で節電ポスターを作り、各学年で紹介してもらうとともに各教室に掲示していった。また、電源スイッチには「節電マーク」を貼り、消し忘れを防いでいった。マークの効果もあり、玄関・廊下・階段の消し忘れも大きく減った。エアコンと電子黒板の活用も増えたが、教室を離れる時の消し忘れが見られることが今後の課題でもある。</p> <p>(電気使用量の対前年度比較 6月～12月間)</p> <p>令和2年度 47096kW</p> <p>令和3年度 47465kW(前年度比 100.8%)</p> <p>※ 前年度より、電気の使用量が少し増えていた。不要な電気の点け消しをこまめにするようになってきたが、なかなか電気の使用量は減ってくれない。電子黒板やエアコンの使用量が増えているためと思われる。</p> <p>3 花いっぱいも学校にします。</p> <p>年2回のグリーントimeで学年の一鉢や花壇に季節の花を植え、水やりや草取りなどのお世話にも進んで取り組んでいる。また、学校花壇やプランターへの花植えやお世話は環境委員会や6年生のボランティアが進んで取り組み、学校を花いっぱいにすることができた。昨年より「種から育てる花作り」にもチャレンジし、一鉢・プランター・花壇にたくさんの花を咲かせ、美しい学校の環境づくりも進んだ。</p> <p>4 使い終わった紙はリサイクル活動します。</p> <p>学級や職員室などから出る使い終わった紙は、リサイクル用紙として回収し、市のリサイクル用紙回収に出している。各学級にはリサイクルボックスを設置し、環境委員会が毎月回収して計量を行い、委員会だよりで回収量を全校にお知らせして活動の成果を紹介している。</p>
見直し	 	<p>1 「節水」「節電」の取組に関しては、環境員会で作成したポスター、節水・節電マークなどの掲示など、視覚を通した呼びかけを行った。これまで玄関や廊下、階段の照明の消し忘れが多かったが、マークをスイッチに貼ったところ、気づいた児童が消すようになり、不要な電気の節約につながっている。しかし、電気使用量の削減まではいかなかった。「今後とも不要な電気は使わない」という意識を全校に広げていく必要を感じた。</p> <p>2 「紙のリサイクル」は教室から出る、名刺より大きい紙は、リサイクルボックスに集め、毎月計量して児童玄関に展示している。月平均で10kg前後の用紙が集まっている。これは紙のリサイクルとともに、教室から出る燃えるゴミの減量にもつながり、取り組みの効果と考えられる。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>「環境 I S O 宣言」を設定し、「節水・節電・環境美化・使い終わった紙の回収」に取り組んだ。</p> <p>環境委員会や先生方の呼びかけにこたえ、児童はそれぞれの活動に取り組み、目に見えて成果も現れている。「節水・節電・美しい環境づくり」への関心と意識も向上し、進んで体を動かす児童も増えてきている。</p> <p>ボランティアで、校庭の落ち葉掃きや学級園の草取りに進んで取り組む児童、廊下や階段、トイレの明かりを気づいて消す児童、「今日は天気がいいから窓側の電気はいりませんよ。」と伝えてくれる児童、自分から気づき、進んで行動化できる児童などの増加に担当としても喜ばしく思う。</p> <p>今、話題の S D G s (持続可能な環境への取組)に対しても、子どもたちが環境 I S O 活動に取り組むことを通して、その必要性を学び、そのために自分たちに何ができるのか。ということを知り・考え・行動化する格好の機会になると思われる。環境 I S O への取組は、児童の意識改革・向上にもつながる活動なので、今後も活動の維持と児童、教師への啓発を続けていきたい。</p>	<p>「コロナウイルス」の影響で、集会などの場面で、節水・節電の呼びかけや啓発活動が今年は十分にできなかった。</p> <p>しかし、タブレットのズームと電子黒板の活用で、全校児童に対して「映像と音声」を通しての広報活動はできる。</p> <p>情報機器の活用を通して、児童に見える形で活動の方法や意義を知らせることが今後ますます必要となってくる。</p> <p>給食時の放送や児童集会、全校集会などの時間に「環境 I S O 活動」への取り組み方や、活動の成果等をタブレットの画像や動画でまとめ、広報・啓発活動に努めたいと思うが、作成の時間捻出や作製技術の向上が必要である。校内の先生方の協力を仰ぎ、取り組むことがますます必要となる。</p> <p>最後に、教室のエアコンを動かすガス発電 (GHP) の使用量を計算すると、前年の 931.8 m³ に対し、今年度は 910.7 m³ とやや減らすことができた。(前年度比 97.7%)</p> <p>窓を開けながらの冷暖房で、効率的な使い方とはならないがこまめな点け・消しで使用量を抑えていくことができたのかもしれない。今後も、不要な冷暖房は使わず節約していくように全児童・職員に呼びかけていきたい。</p>